

平成30年度第2回東成区区政会議（全体会議）

1 開催日時 平成31年3月6日（水） 19時00分から20時45分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

米原 俊夫（議長）、羽鹿 誠一（副議長）、阿形 正一、石塚 克哉、井上 吉史、
大谷 慶子、下村 直美、末光 京子、高橋 芙美子、田中 良和、茶谷 儀夫、
東方 宏祐、徳永 政喜、永門 武志、中谷 誓吾、鍋田 仁史、林 正則、
福永 美和子、藤井 宣昭、藤溪 達夫、本間 良文、松田 好行、三枝 直美、
森井 フミ子、吉谷 忠之、吉本 紀美子

【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、則清 ナヲミ

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、萩 純一郎（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀
孝（総合企画担当課長）、大野 聡（市民協働課長）、井上 徳久（まちづくり担当
課長）、西山 明子（保健福祉課長）、北野 紀子（児童・保健担当課長）、後藤 美
里（総合企画担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、藤原 吉生（まちづ
くり・にぎわい創造担当課長代理）、松穂 好純（まちづくり・教育支援担当課長代
理）、世古 美弥子（保健福祉課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）、
高村 真治（総務課担当係長）、志賀 浩（市民協働課担当係長）、太田 全昭（市民
協働課担当係長）、辻 真司（保健福祉課担当係長）、細山 博文（保健福祉課担当係
長）、石野 靖子（保健福祉課担当係長）

4 委員に意見を求めた事項

平成31年度東成区運営方針（案）及び予算（案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【大藪係長】 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから平成30年度第2回東成区区政会議を開催いたします。私は、東成区役所総務課総合企画担当の大藪でございます。よろしくお願いいたします。

まず冒頭に、区長の麻野よりご挨拶させていただきます。

【麻野区長】 皆さん、こんばんは。改めまして東成区長の麻野でございます。

本日は、お足元の悪い中たくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございます。また、平素より大阪市政、区政各般にわたりまして格別のご配慮を賜っておりまして、まことにありがとうございます。改めてお礼を申し上げたいと思います。

今日は平成30年度の第2回の区政会議ということになっております。運営方針が固まってまいりましたので、その説明を中心にさせていただこうと思っておるんですけども、運営方針にたくさんSDGs（エス ディ ジーズ）という言葉が出てまいります。今日は、ちょっと冒頭に私の時間をさせていただいてSDGsの説明をさせていただきたいと思っております。お手元にも資料ございますし、スライドにも映しておりますので、ご覧いただきたいと思います。

まず最初に、説明に入る前にちょっと報告というか、お知らせしたいことがあるんですけども、ついこの前、市民局という局がありまして、そこがアンケートをとりました。そのアンケートで東成区の地域のつながりがどうなっているのでしょうかというところがあったんですけども、何と地域での日常の声かけ、それから、地活協による地域課題の取り組み、これ、非常にいい成績といいますか、いい結果が出ておりまして、やっぱり地域のつながりが非常に強いということが統計というかアンケートからも出ているのかなと思います。去年もこんな話を申し上げて、ですが、去年は日常の声かけ1位だったんですけども、今年3位。ちょっと落ちたんですけども、誤差の範囲だと思っております。相変わらず東成は非常に地域のつながりが強いと、あったかいまちだなと改めて思った次第です。

それから、2つ目は、ちょっとこれ、ご報告というか手前味噌な話なんですけれども、「区民サービスの向上」という項目もございました。ここには「市民、区民の皆さんの声を区役所はちゃんと聞いているんですか」あるいは「情報提供をきちんとさせていただいているんですか」、こういうのもよかったなと思っております。私たちも頑張っておるところでございます。

それから、一番下のところで窓口サービスの格付けというのもございます。これは民間の調査会社に調べてもらって、うちの区役所の窓口はどうだろうか、サービスはどうだろうかというのを調査していただいたんですけれども、これ、去年1つ星だったのが今年2つ星に上がっております。区役所もこういった形で頑張っておりますので、引き続きご支援いただきたいと思いますと思っております。

じゃ、本題に入りたいと思います。このSDGsなんですけれども、ちょっと難しいんですね。英語が難しくて、サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズといいます。日本語に訳すと持続可能な開発目標というんですけれども、難しい説明をすると、2015年に国連で採択された持続可能な社会を築くための世界共通の目標というんですけれども、ちょっとわかりにくいです。英語が3語もあって、しかも、それぞれ長い。ゴールはわかると思うんですけれども、サステイナブルとディベロップメント。これ、長いので英語は覚えなくて結構だと思います。頭文字だけ覚えてください。SとDとGです。これはちょっとわかりにくいんですけれども、野球の球団で覚えていただければいいかなと思います。スワローズ、ドラゴンズ、ジャイアンツということで、阪神タイガースは入っておりませんが、これで覚えていただけたらいいと思います。これでもう頭文字3文字、皆さん覚えていただいたと思います。

本題に戻りまして、サステイナブル、持続可能という言葉はちょっと聞いたことあるかなと思います。もともとは自然環境の話で、いわゆる地球にやさしいといいますか、木を切りっ放しじゃなくて、切ったらちゃんと植えましようねとか、魚もとりっ放しじゃなくて魚が育つような環境をしっかりとキープしていきましようねとこういう話だったんですけれども、私たちが事業をやっていくにあたって、サステイナブル、持続可能になってどういうことかという、その場限りの対応じゃなくて、その効果が続いていく、あるいは自律的にその事業が発展していく、そういったことを考えていかないといけないという視点。あるいは、その事業を、あるいはその体制を運営、維持するにあたって、予算をどんどん入れていかないと動かないというようでは持続可能とは言えないと。いろんな仕組みを使ってウィン・ウィンの関係が構築されるような形で持続可能性を担保していくというのが持続可能性の考え方になっています。

持続可能な開発といいますと、また開発もわかりにくい言葉なんですけれども、端的に人づくりとかまちづくりだと考えていただけたらいいと思います。そうしますと、長い間続くような、きちんと続いていくようなまちづくりをやっていきましようということだと思

います。ポイントは、さっき環境の話から始まったと申し上げましたけれども、環境ですか、社会ですかだけではなくて、ビジネスとか社会の仕組みを変えていかないと、この今いい社会が、つながりの強い東成の社会が持続していかないということだと思います。それから、行政や福祉団体だけじゃなくて、企業や学校、個人の方も全員参加で取り組んでいく、これが重要だと考えています。

17個も目標があって、非常にたくさんあって、私も全部覚えていないんですけども、大体大きく分けて、環境と社会と、ガバナンスというところとちょっと難しいんですけども、社会の仕組みと考えてください。社会的な話。それから経済の話。大きく分けて3つです。皆さんと私たちが一番取り組んでいるのはこの社会の仕組みのところ、福祉ですとか教育ですとか健康、まちづくり、防災、こういったところが社会というところに入っています。それから、環境はごみの問題に取り組んでいただいている方もたくさんいらっしゃいますし、下の経済のところは働き方改革ですとか、企業の方もたくさんいらっしゃいますので、こういった形で関係していると言えると思います。

国もこのSDGsを支援というか推進しております。国は何て言っているかというところ、全国の地方自治体及びその地域で活動するステークホルダーによる積極的な取り組みを期待しますと書いています。この地域で活動するステークホルダー、これが皆さんだと思います。ステークホルダーというのは関係者というような意味なんですけれども、地域で活動していただいている区民の皆さん、関係者の皆さんが積極的に取り組んでいくことが重要なんだよと言っております。

これはちょっとわかりにくいんですけど、安倍総理の写真ですが、おととしの6月にSDGs推進本部というのを政府で開いておまして、そこでもSDGs、地方で頑張らましようというような話をしているところです。それから、同じ内閣府のペーパーから引っ張ってきたんですけども、ここにも住民や民間事業者等の広範で多様なステークホルダーの参加が不可欠であると。それから、私たち、自治体、行政は、市民の皆さんやステークホルダーの皆さんの積極的な参加を促す活動を展開することが求められている。皆さんのふだんのいろんなボランティア活動、地域活動、これを積極的に推進していく。これがSDGsにおける区の役割だと規定されているところです。

他の自治体さんですとか企業さんはどんな取り組みをしているのかというところなんですけれども、大阪だと堺とか、あるいは神奈川、京都市、ちょっとわかりにくいんですけど、これ、木更津市という千葉県の市なんですけれども、ここなんかは庁舎内の看板にもSD

G s のマークを張って、取組みをやっているということを示しています。

これ、日経新聞が調査した結果なんですけれども、SDG s 先進度というのを調査した。ついこの前、今年の1月、調査しています。首位が京都市だったんですけれども、2位は北九州、ちょっとちっちゃい字で書いていますけど、大阪市は76位と、ちょっとというか非常に遅れているところですよ。

これは内閣府の調査なんですけれども、SDG s に向けて自治体さんはどんな取組みをしていますかという調査なんですけれども、アンケートなんですけど、半分以上の自治体が推進している。またはこれから推進していきましようと言っていると。まだ遅くないということだと思います。

これは企業さんなんですけれども、これ、吉本興業さんですね。吉本興業さん、私たちともいろんなつながりがあるんですけれども、吉本興業さんは企業として、これ、行政を介さずに直接国連と連携して、これ、委託ではなくて、ちゃんとボランティアで、会社さんの取組みとしてやっているんですけれども、こういう取組みをされています。

それからジャパンSDG s アワードというのが去年ありまして、政府主導であったんですけれども、いろんな自治体さんですとか団体さんが取り組んでいるのを表彰しています。ちょっと細かいところは後で読んでおいていただきたいんですけれども、鹿児島県の大崎町というところはごみ問題に取り組んでいます。それから、^{さんしょう}三承工業さん。これはおもしろいんですけれども、岐阜県の28人しかいない中小企業さんなんですけれども、働き方改革に取り組んでおられたり、あるいは、これ、住宅の会社さんなんですけれども、低所得者の方向けのシンプルな商品を作るということで社会貢献につながっているというようなところですよ。

それから、これは障がい者福祉の団体さん。あるいは、これ、学校ですね。学校の部活で海の問題に取り組んでいる。海洋汚染の問題に取り組んでいるというものが表彰されています。

大阪市なんですけれども、さっき出おくと申し上げましたけれども、大阪市も頑張ろうということで表明しております。まち・ひと・しごと総合戦略というのを去年の秋に改定しまして、そこでSDG s の取組みを頑張っていこうということを言っています。それから、大阪は今年G20が6月にございます。それから何といっても万博がございまして、このSDG s は2025年大阪万博の開催目的になっているということで、大阪とはちょっと切っても切れない関係にあると思います。これ、まち・ひと・しごとの

ペーパーですね。

当区、東成区なんですけれども、先ほど申し上げたように、皆さんと一緒に推進してまちづくりに取り組んでいくということを改めてお示ししたいと思います。「withひがしなり愛」と書いていますけれども、要は地域の地域を愛する心、「東成ってええとこやな」と、これをみんなでキープして、それから盛り上げていこうと、この気持ちを持ってやっていくのが一番大切だなと思っております。そして、行政は側面支援をさせていただいて、パートナーシップでまちづくり、SDGsをやっていこうということだと思います。

最後に、改めてもう一度、皆様方の「ひがしなり愛」をもってまちづくりをやっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。個別の取組みはこの後、課長から説明があると思います。今日はほんとうに活発なご意見を頂戴したいと、ご議論をお願いしたいと思います。

どうもありがとうございます。よろしくお願いします。(拍手)

【大藪係長】 それでは、本日の区政会議の開催状況でございますが、委員43名中25名のご出席をいただいております。したがいまして、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

まず机上には2種類の資料を置かせていただいております。1つ目が先ほど区長の説明にありました大阪市東成区におけるSDGsに向けた取組みです。もう1つが、区政会議配席図(2階大ホール)というものです。裏面が委員名簿となっております。本日の出席者につきましては配席図でご確認ください。

次に、事前送付資料についてです。まず、次第です。その裏面には進行表となっております。次に、資料1として、平成31年度東成区運営方針(案)市様式、資料2として、平成31年度東成区運営方針(素案)からの修正について、資料3として東成区区政会議資料(平成31年度東成区関連予算(案))、資料4として平成30年度区政会議における意見への対応状況、資料5-1、5-2として、区政会議に関するアンケート集計結果です。

皆様、資料の不足はございませんでしょうか。

では、進めさせていただきます。

続きまして、会議の進行にあたりましての注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議は条例により公開することとなっておりますので、ご了承をお願いします。

また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によりまず会議中の撮影につきましてはご了解をいただきたいと存じます。本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、会場にお越しの皆様をお願い申し上げます。携帯電話、スマートフォンは、電源をお切りいただくかマナーモードにさせていただきますよう、お願いいたします。また、会場内での通話をご遠慮いただきますよう、あわせてお願いいたします。

それでは、以降の進行を議長をお願いいたしたいと思っております。

では、米原議長、羽鹿副議長、中央の席にお座り下さい。

【米原議長】 皆さん、こんばんは。米原でございます。どうかよろしくお願いいたします。

議事進行にあたりましては、限られた時間ということもございますので、皆様方のご協力をいただきながら円滑に進めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ご発言される際には、挙手でその意思を表明していただいた上で、僭越ながら私のほうでご指名させていただきますので、まず、お名前をお伝えいただいて、それからご意見というルールでお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日の議題は平成31年度東成区運営方針（案）及び予算（案）についてとなっております。

それでは、区役所より説明をお願いいたします。

【中須賀課長】 総合企画担当課長、中須賀でございます。それでは、資料の1、東成区運営方針（案）をご覧くださいと思います。

こちらは、前回12月の区政会議のときに素案といたしましてお示ししたものに対して、この間の時点修正等を加えましたものでございます。

資料2が修正している箇所の一覧でございます。修正前と修正後をお示ししております。左上に1、実績数値の修正とありまして、表の右側の欄に修正後の数値を記載しております。いずれの修正も直近の取組み実績を反映したものでございます。次に、裏面をご覧くださいまして、文言の一部修正等ですが、7カ所ございます。よりわかりやすいようにという観点で見直し、修正を行ったものでございます。最後に3、具体的取組の追加について

てですが、2カ所ございます。経営課題の4で具体的取組4-1-4に「子どもたちと体験するSDGs」というのを新たに追加しております。資料1の運営方針（案）では、18ページに記載しております。資料1と2の説明については以上でございます。

続きまして、資料の5をご覧くださいと思います。こちらは区政会議委員アンケートの結果です。前回12月の区政会議のときに皆様方にアンケートのお願いをいたしましたところ、26人の皆様よりご回答をいただきました。資料の1枚目は全体会についての結果。それと、2枚目は部会についての結果でございます。こちらはまた後ほどゆっくりとご覧いただければと思います。

私からは以上です。

【足立課長】 引き続きまして、総務課長の足立でございます。私からは予算編成の全体の状況につきましてご説明をさせていただきたいと思います。座らせていただきます。

それでは、お手元の資料3の1ページをまずご覧いただけますでしょうか。31年度の運営方針に沿いまして予算編成を行っております。平成31年度の東成区役所が行う事業、庁舎の維持管理経費などの全体の予算につきましては3億1,606万5,000円となっております。予算編成にあたりましては、運営方針に掲げます経営課題の①から④の柱に加えまして、⑤の区民が利用しやすく信頼される区役所づくり、⑥の東成区役所などの運営にかかる経費の6つの柱で行っております。各項目の詳細内容につきましては、この後に行われます部会におきまして、ご覧いただく予定をしておりますので、ここでは省略をさせていただきます。

続きまして、2ページをご覧くださいいただけますでしょうか。前年度平成30年度予算との比較になっております。平成30年度の予算は2億9,735万9,000円で、31年度最終予算が3億1,606万5,000円で、前年比1,870万6,000円の増となっております。大阪市の財政状況につきましては依然として厳しいものがあり、財政健全化に取り組んでいるところでありまして、31年度予算におきましても区全体では1%のマイナスシーリングが設定をされておりますけれども、東成区のような人口規模の小さい区の財源配分といいますのはそもそも少なく、予算編成に窮する状況がありましたので、31年度の単年度限りの措置といたしまして、約1,300万ほどの財源の上積みがなされたことによりまして予算増となっております。したがって、既存の主な事業につきましては、ほぼ今年度並みの予算を確保できておりまして、その上で新規、あるいは拡充を行った事業が幾つかあるという状況になっております。

この資料のグラフの左側の色の濃い部分が区役所で行います事業の経費、右側の薄い部分が区役所や区民センターの管理運営費になっております。事業経費につきましては、前年比で481万3,000円の増と。運営経費につきましては、前年比1,389万3,000円増となっております。事業経費の増予算につきましては後ほどご説明いたしますけれども、運営経費の増の主なもの、区役所正面玄関の急なスロープの改修工事費、及びトイレをきれいにするための改修経費となっております。

2ページの下側の円グラフにつきましては、平成31年度の事業経費1億1,172万2,000円に占めます各分野ですね。①から⑤までの各分野の割合を示しております。

それでは続きまして、3ページをご覧くださいませでしょうか。各分野ごとの概要につきまして、新規事業、拡充事業を中心に説明をさせていただきたいと思っております。

まず、地域防災対策事業についてでございますが、予算額としましては699万3,000円を計上しております。平成30年度予算と比較しますと84万8,000円の増となっております。拡充の内容といたしましては、昨年発生いたしました台風21、24号に伴います避難所開設の実態をふまえて、1つは、避難所内での避難者が災害情報を得ることができるようにするためにケーブルテレビの設置費を計上しております。また、トランシーバーを今年度に引き続き購入し、地域に配備しますとともに、引き続き防災活動資機材の充実を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、5ページをご覧くださいませでしょうか。「子どもが育つ環境整備」でございます。ここでは、地域におけるプログラミング教育支援事業を新規事業として実施いたします。予算額としましては170万7,000円を計上させていただいております。事業内容としましては、児童が自主的に学習する機会の創出、あるいは、プログラミング教育活動を支援する地域の人材の育成。そのために夏休みプログラミング教室やプログラミング教育支援ボランティアの育成講座などを実施してまいります。

続いて、少し飛びますけれども、9ページをご覧くださいませでしょうか。「にぎわいや活気のあるまちづくり」の関係でございます。ここではひがしなり企業区民連携フォーラム構築事業を拡充いたします。予算額としましては500万円を計上しております。平成30年予算と比較しますと200万の増となっております。

東成区では昨年3月、区内で事業をされている企業等のいわゆるCSR活動、あるいはSDGsへの貢献に向けました活動を支援することを目的としまして、ひがしなり企業区民連携フォーラムというのを立ち上げまして、そこでひがしなりソケットと称しまして、

ワークショップを開催するなど、企業、そして区民が集まって地域課題を共有して、解決に向けたアイデアを出し合いながらそれを形にしていくと、そういう取組みを進めているところでありまして、来年度も継続してまいりたいと考えております。さらに平成31年は、市の経済戦略局との連携で、留学生が参画する事業を拡充してやっていきたいと考えております。

続きまして、12ページをご覧くださいませでしょうか。東成区の伝統工芸活用事業というのを拡充していきたいと思っております。予算額としましては278万9,000円を計上させていただいております。平成30年度予算と比較しますと178万9,000円ほどの増ということになっております。事業内容といたしましては、これまでやっておりました菅細工体験教室の開催、あるいは、菅細工の材料となる菅の栽培支援を引き続き行いますとともに、菅細工の魅力を区の内外で広く発信するためのPR映像の制作というのを行ってまいりたいと考えております。

続きまして、13ページをご覧くださいませ、子どもたちと体験するSDGs事業を新規事業として実施をいたします。予算額は309万4,000円を計上しております。これはSDGsの目標の1つに「陸の豊かさを守ろう」という項目もありまして、自然環境の保全、森林の持続可能な管理というのが求められているところでもあります。そこで、主に子どもたちを対象にしまして、身近なまちの中にある自然に触れ、自然の多様性を感じる、あるいは学ぶ機会として、森林にまつわる体験学習を実施していくとともに、自然保護のために伐採されました間伐材などを利用した木工細工教室を開催してまいりたいと考えております。

以上が簡単ではございますけれども、平成31年度予算の概要説明とさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【米原議長】 ただいま区役所より議題についての説明がございました。中須賀課長より説明のあった平成31年度東成区運営方針（案）については、前回の区政会議において皆様に議論していただきましたので、新たに追加する意見がございましたら、いただきたいと思っております。

足立課長より説明のあった平成31年度予算案については、前回議論しました平成31年度東成区運営方針（案）に基づいてつくられております。今般の市会でも議論されておりまして、いただいたご意見がすぐに31年予算案に反映されるというものではございませんが、次年度の予算編成がもうこの夏から始まるということでございます。本日いた

きました意見につきましては、次年度予算編成に向けて検討いただくということでございます。本日も皆様から忌憚のない意見、また、できるだけ前向きなご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

では、これから全体会議を一時休会し、部会に移ります。部会終了後に、全体会議を再開しまして、各部会から話し合われた内容の報告をしていただきます。

それでは、進行を事務局に一旦お返しいたします。

【大藪係長】 それでは、ただいまより部会に移っていきたいと思います。にぎわい・きずな部会の皆様はエレベーターで6階集会室601へ移動していただきます。どうぞよろしくお願いいたします。こども教育部会、保健福祉部会はこの場で。以降の進行につきましては、各部会の議長、副議長にお願いいたします。

<各部会に分かれて進行>

※各部会議事録を参照

【米原議長】 皆様、熱心な意見交換をしていただき、ありがとうございました。

ただいまより、全体会議を再開いたします。

それでは、先ほどの部会において話し合った内容を各部会議長からご報告をお願いいたします。

まずは、にぎわい・きずな部会、藤溪議長、よろしくお願いいたします。

【藤溪議長】 失礼します。まず、ちょっとお断りしておきます。この資料の3ページ、4ページ、安全で安心なまちづくりという1つのタイトルがあるんですけども、実は前回この会で、ちょうど北部大阪地震とか、それから21、24号の台風とかで防災、これにかなり時間を費やして話し合いましたので、今回ちょっと7つのタイトルが30分では無理なので、この安全で安心なまちづくりの9ページへいかせてもらいます。

とにかく部会は責任を感じていますのは、先ほどの予算の円グラフで全体の60%をこのまちづくりで予算化されているということで、責任の重さを感じながら話し合いました。まず9ページ、継続で拡充ということで、企業区民連携フォーラムですね。このことに皆さんが非常に期待されてきました。いろんな意見が出てきました。その2つ目の黒い点のところ、ことに留学生の参加、これは大いに進めてもらいたいということでした。

それから、下に写真がありますが、このフォーラム構築事業の愛称というんですか、そ

れがひがしなりソケット^{ラボ}LAB.になっています。こういったものに、できたら我々もちょっと参加させてもらえたら、この委員だけでもちょっと参加できたらということで、皆さんがなかなか期待されている、予算も200万円アップという事業ですので、皆さんにもちょっと期待いただけたらと思います。

それから、次に10ページですが、「東成区の地域資源」魅力発信事業ということで、これも企業の方が今後はできるだけ町の人に見学等、イベント等、たくさん来ていただくように考えていきたいということをお願いいたしましたので、これも期待しているところです。東成区はモノづくりのまちであると。これの活性化のためにもそれを期待したいということでした。

下の写真の真ん中にある東成こどもモノづくり体験フェスタ、この3月16日にこの区民センターで行われます。去年、私もちょっと取材で参加させてもらったんですが、なかなかいい企画ですので、できれば皆さんも3月16日10時からこのホールでやりますので、見学に来ていただいたらありがたいと思っています。これもしっかりと宣伝せえということでしたので。

それから11ページ、これは11連合のうち8連合が手を挙げて、地域のつながりの希薄化や活動の担い手、そういうところを地域の共通の課題になっているんですね。これの解決に向けてどういうイベントを、あるいは活性化づくりを見ていったらいいかということで、もう1年、来年度これから続けられますので、それぞれの連合で創意工夫されて、さらに前進のあることを期待している事業であります。

次、12ページ、これは深江にあるんですけども、伝統工芸の活用事業ということで、こういったのを映像化されるということで、これはもう皆さんが非常に期待して、各連合にも配っていただけたらという意見も出ていました。^{ナフ}菅細工体験、これも深江でやっておられるんですね。週1回で4か月ぐらいかけてやっておられるので、一遍ちょっと見学に行かせてもらったらと思っているところです。

先ほど言いましたが、3月16日のフェスタでもこの^{ナフ}菅細工があるので、参加できるそうなので、お伝えしておきます。

いよいよ最後です。これも新規事業です。だから、まだまだこれからいろんな提案、また企画が練られて、いずれ実現していくと思うんですけども、これはいろいろな体験フェスタですね。間伐材を使った木工体験教室、こういったものを今、企画されていますので、SDGsですか、このための新規事業でもありますので、委員の皆様も大変期待して

いるということで、広報等でPRされていきますので、また見学にも起こしただいたらと思います。

以上です。(拍手)

【米原議長】 ありがとうございます。

次に、子ども・教育部会の田中議長様、よろしくお願いいたします。

【田中議長】 子ども・教育部会。資料3の5ページ、6ページなんですが、地域におけるプログラミング教育支援事業、こういうのもございまして、これはいつごろするんやろうかと、夏休みなんやろうか、対象者は誰やと、まだその辺も詳しくはこれからやということでございますので、区役所と学校とよくご相談して我々にも教えてねということでございます。

それから、ちょっと時間かかったのがこの部分でして、子どもの体力向上事業というのがございます。その道の、アスリートっていうんですか、そういう人が来ていただいて、学校で子どもたちに水泳を教えたり、走る速さをどうしたら速く走れるかとか、鉄棒を教えるとかいうことになるんですが、なかなか去年までここやったから、今年はこれだけうまくなったよというのがなかなかわかりにくい。ただ、鉄棒をしておれば腹筋もつくし、腕力もつくし、腕力がついたら、走るのも早くなるやろうということで、全国でやっています子どものスポーツ診断というんですか、体力測定結果というのが出ると。そして、大阪市でも体力測定結果が出されていると思います。それよりも今はちょっと劣っているなと。でも、来年はそういう人たちのおかげでちょっと上がったのではないかとこのような検証をしていただけたらいかがでしょうかということでございます。

次が、子育て支援なんですが、去年の会議のときに、我々、もっと協賛する店舗を増やしてよとか、主任児童委員って何してはるか、こんなところにちっちゃく書いてあるだけやったらわからないじゃないのということを言わせていただきました。すると、今回は、まだ配っていませんけども、これだけ大きく載せていただくことになりました。そして、協賛していただく店舗は今まで30軒やったのが41軒に増えたというように頑張ってくださいました。これはもう我々の意見がすぐ答えとなって出てきましたので、またやりがいが出てきたということでございます。これからもひとつよろしくお願いいたします。

子ども・教育部会は以上でございます。(拍手)

【米原議長】 ありがとうございます。

最後に、保健福祉部会、石塚議長、よろしくお願いいたします。

【石塚議長】 保健福祉部会ですけれども、資料の7ページ、8ページになります。まとめの段階で一番多かったのが8ページの百歳体操のことになります。その中でも特に百歳体操を普及していくのに、やっぱり男性が9対1ぐらいで1割ぐらいしかいてないと。だから、男性の参加促進の確保が問題やから、そこに工夫が要るし、どうやったらいいのかなということから話が膨らみまして、地域の担い手とかの問題も出まして、男性の担い手の確保がなかなか大変やと。それから、担い手がもう高齢化していて、世話する人もされる人も皆、高齢化やと。どうやったら、ほんとうに男性がこういった地域活動、それから健康づくりとかに参加してくれるんやろうと。百歳体操だけにこだわらず、他のいろんな介護予防もしているところもあるし、それも大切やし、それから男性のしたいこと、将棋とか、もうそういったアイテムも使って、あと、またお誘いをすることによって1人にさせない、地域とつながっていける、そういう工夫ができたらいいなと。具体的になかなかこれいう決め手はないんですけど、そういうことを1つずつ工夫して、やっぱり男性の1人きりが少ないようなことにしたいなという意見が一番多かったです。

それから、次で7ページになりますけれども、おまもりネット手帳の普及がどんなものやということで、手帳はなくてカードだけの人もいますということですけども、手帳の場合、なかなか内容、中身の情報がきちっと更新されていないと。だから、せっかくの手帳がありながら中身の更新がされていないと、ちょっと宝の持ち腐れと違うかなということの意見が出まして、この意見は1年前から出ていたんですけど、数を増やすことも大事かもわからないけど、それ以上にやっぱり内容をきちっと更新していく努力をしたいなと。ただ、それを誰が担うのか。やっぱり担い手の問題になりますけど、しっかりとそこを更新していくシステムをどうやってつくっていくのか。それが問題やなということになりました。

こういった行政のことを私たちがやっぱり応援していかんとあかんし、考えて参加していかんとあかんですけど、ただ、ご意見の中で、やっぱり横文字が多過ぎてなかなか理解をするのがしんどい部分があるという意見がありましたので、それもつけ加えておきます。ありがとうございます。(拍手)

【米原議長】 ありがとうございます。

皆さん、ただいま一通り、各部会からの報告を聞いていただきましたが、他に追加のご意見や。

【藤溪議長】 すみません、1点だけ抜かしてしまって申し訳ないんですが、このまちの魅力向上というところでもう全般的にかかわっている件なので、やはり、ちょっとお伝

えしなければならぬと思っています。この一番下に商店街の活性化ということなんです
が、最近どこの商店街でもシャッターがおりたままというところが多くなってきて、深江
連合ではそういったシャッターがおりているような商店街に、これを何とかして活性化し
ようということで、4月29日連合で取り組まれるそうなんですよね。かなり頑張ってお
られますので、どういう取組みか、よければ見学に来ていただいたらということ。

【米原議長】 ありがとうございます。

皆さん、ただいま一通り、各部会からの報告を聞いていただきましたが、他に追加する
ご意見や質問などはございませんでしょうか。

本日は各部会の意見を聞かせていただくことで、広く区政の現状と課題、それに対する
委員の皆様の思いがしっかりと伝わったのではないかと思います。ほんとうにありがとう
ございました。

それでは、閉会の時間が迫ってまいりましたので、そろそろ区政会議を終了したいと思
います。本日出されました意見について、区役所でもしっかりと検討して、区政に反映し
ていただき、東成区をよりよい方向に進めていきたいと思っております。

それでは、進行を区役所にお返しします。円滑な議事運営にご協力いただきましてあり
がとうございました。

羽鹿副議長様、何かございませんでしょうか。

【羽鹿副議長】 本日はお忙しい中、また足元の悪い中、ご出席いただきましてありが
とうございます。各部会におきまして活発なご意見、ご感想をいただきましてまことにあ
りがとうございます。今後これを区政に反映していただきまして、よろしく願いいたし
ます。私たちも関心を持っておりますので、よろしく願いいたします。

【大藪係長】 ありがとうございます。

【麻野区長】 それでは、最後に一言だけご挨拶させていただきたいと思います。

ほんとうに皆さんありがとうございました。私もちょっ、ちょっ、ちょっと参加という
か傍聴させていただいて、つまみ食いみたいにして皆さんのご意見を伺ったところなんで
すけれども、短い時間でほんとうに集中して議論していただいて、さすが東成の知恵袋の
集まりだなと思いました。ほんとうに貴重な意見をいただきましたので、これをまたかみ
しめながら事業に取り組んでまいりたいと思います。

私もなかなか、ほんとうに皆さんのご意見をお聞きする機会がとれなくて、こういう場
はほんとうに貴重だと思っています。まちでも見かけましたら、「ちょっと区長ええか」っ

て言って声かけていただければお話伺いたいと思いますので、よろしく申し上げます。今日はほんとうにありがとうございました。

じゃ、大藪さんに返します。

【大藪係長】 米原議長はじめ、委員の皆様方には、スムーズな議事進行にご協力いただき、まことにありがとうございました。

本日の区政会議において、皆様方からいただきました貴重なご意見につきましては、今後の区政運営での参考とさせていただきます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、次回の区政会議は6月に開催の予定です。次回の議題は平成30年度東成区運営方針の振り返りでございます。日程が決まり次第、ご連絡させていただきますので、ご出席のほど、よろしくお願いいたします。

では、以上をもちまして、平成30年度第2回東成区区政会議を終了いたします。本日はまことにお疲れさまでございました。